

新型コロナウイルス感染症の発生について（第5報）

昨年12月23日より当院東5病棟、西5病棟において、新型コロナウイルス感染症が発生し、クラスターと認定されました。その後、筑紫保健所や県のコロナ対策本部調整員の指導を受け、感染症対策に取り組んでまいりました。

現在、西5病棟は1月初旬以来PCR陽性者は検出されず、入院患者さん、職員もすべて4週間以上陰性ですので、保健所と相談の上、本年2月3日に西5病棟の新型コロナウイルス感染が終息したと判断いたしました。また、東5病棟は先週、今週にも1名の入院患者さん陽性者が検出されましたので、2名の患者さんは転院となりましたが、もうしばらく感染対策をしながら経過を診ていきます。なお、東5病棟のスタッフは毎週PCR検査を行い、3週間以上にわたり全員陰性であることを確認いたしております。

また、入院受け入れ病棟の西3（精神科急性期）、西4（一般精神科）、東3（内科病棟）のスタッフは全員PCR陰性であることは確認いたしております。外来・デイケアは当初より感染者は確認されておらず、通常どおりに運営しております。

皆様にはご心配とご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。今後も一層の感染防止対策を講じながら、患者さんと職員の安心・安全に最善を尽くしてまいります

2021年2月3日

医療法人十全会 おおりん病院

理事長・院長 石橋正彦